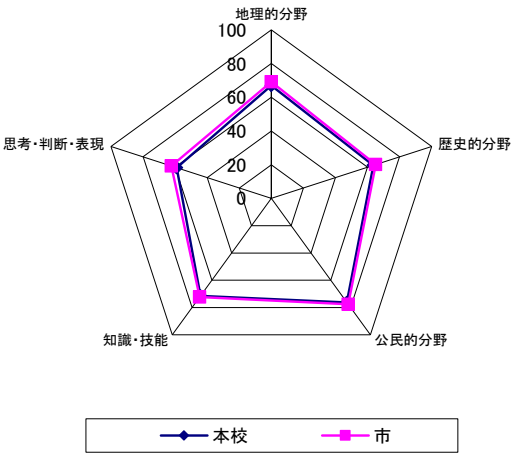


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	67.0	69.2	61.5
	歴史的分野	63.6	65.1	59.1
	公民的分野	76.3	77.6	71.6
観点別	知識・技能	71.4	72.2	66.8
	思考・判断・表現	59.0	62.3	53.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	平均正答率は市平均を2.2ポイント下回り、参考値を5.5ポイント上回った。 ○大問1「世界の姿」や中国四国地方の気候の特色について雨温図をもとに判断する問題においては市平均を上回っている。 ●日本の地形の特色や、日本の人口の特色を複数の資料を関連付けて考察しその内容を表現する問題においては市平均を大きく下回っている。	・グラフや図表などの資料から、その資料が何を示しているものかを読み取り、複数の資料を関連付けて説明する力が高められていない。授業の中で、各種資料を読み取って自分の言葉で説明する学習活動を積極的に取り入れていく。 ・資料で表されている内容は、学習内容を表したものであるもので、理解すべき内容を再確認し、定着させていく。
歴史的分野	平均正答率は市平均を1.5ポイント下回り、参考値を4.5ポイント上回った。 ○大問5「近世の日本」で、江戸幕府の外交や田沼意次の政治についての問題では市平均を大きく上回っている。 ●一方で、鎖国下の対外政策や江戸幕府による政治について、資料をもとに判断・考察し表現する問題は市平均を下回っている。	・江戸時代後半の内容に比べて、古代までの日本や江戸時代の前半の内容が市平均を下回っている傾向がある。学習内容を復習する機会を積極的につくり、定着を図っていく。 ・地理的分野と同様に、資料を読み取ったり判断・考察したことを表現する活動を苦手としている傾向が強い。授業の中で、各種資料を読み取って自分の言葉で説明したり、話し合ったりする学習活動を積極的に取り入れていく。
公民的分野	平均正答率は市平均を1.3ポイント下回り、参考値を4.7ポイント上回った。 ○日本の高齢社会について資料から読み取る問題や、憲法改正の手続きに関する問題については市平均を上回っている。 ●物事の採決の仕方について判断したり、公共の福祉について資料を参考に表現する問題は市平均を下回った。	・公民的分野の学習内容に関する様々な事例についての知識が浅いと感じる。物事の採決の仕方や公共の福祉など、学習内容を確認したうえで、様々な事例を紹介し、理解を深めさせる。